

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

| | | | |
|---------|---|-----|--|
| 施策体系コード | 5-3-3 | 事業名 | 路面電車活用方針検討調査 |
| 担当 | 市民まちづくり局総合交通計画部都市交通課 岩瀬 211-2492 | | |
| 全体計画 | | | |
| 事業内容 | 「さっぽろを元気にする路面電車検討会議」によって提案された、活用の基本的な方向性について、具体的な整備内容や費用対効果、その実現を可能とする事業経営のあり方等を明らかにするために必要な、調査・検討を行う。 検討にあたっては、市民はもとより関連する事業者、行政機関等と共通認識を図りながら議論を行い、その結果を踏まえて事業実現の可能性や実施内容等を検証し、事業化を判断するために必要な基本計画(案)を平成21年度までにまとめる予定。 その後、パブリックコメントを実施したうえで、札幌市としての政策決定を行うが、この結果、事業を実施する場合は、国庫補助事業として必要な手続きとしてLRTプロジェクト推進協議会の設置及び事業計画(総事業費、事業年次、資金計画等)の策定を行う予定。 | | <年度別の事業内容> |
| | | | <p>[平成19年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業化の判断に必要な調査・検討 <p>[平成20年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業化の判断に必要な調査・検討 <p>[平成21年度以降]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本計画(案)の策定 ・パブリックコメントの実施 ・基本計画の策定 ・事業計画の策定 |
| 事業内容 | 平成19年度事業内容(決算) | | 平成20年度事業内容(決算) |
| | <p>「さっぽろを元気にする路面電車検討会議」からの提言を踏まえ、民間企業などとの連携による既存線の収支改善や沿線の魅力向上に向けた具体的・実験的な取り組みを継続的に実施した。 また、札幌市が今後事業化を判断するために必要な検討項目や検討の進め方を示した「さっぽろを元気にする路面電車活用の基本計画検討フレーム」を7月に公表し、これに基づき必要となる詳細な検討を実施した。</p> <p>事業化の判断に必要な調査・検討の委託費 20,478千円 沿線活性化に向けた連携事業への負担金 274千円 基本計画検討フレームの印刷等 161千円</p> | | <p>路面電車活用の方向性について、沿線地域イベントにおいて、パネルや映像等を活用して情報提供を行った。 また、路面電車の基本計画(案)策定に向けた取り組みとして、利用者の利用目的、乗降停留場の箇所、利用人数など、詳細な利用実態調査を実施し、既設線の詳細な利用実態を把握した。</p> <p>路面電車活用に向けた基礎調査・検討の委託費 27,542千円 沿線活性化に向けた連携事業費 696千円</p> |
| 事業内容 | 平成21年度事業内容(決算) | | 平成22年度事業内容(予算) |
| | <p>都心の新たな集客交流拠点の整備計画等を踏まえ、まちづくりと一体となった路面電車の活用について、延伸方面や費用対効果、今後の事業経営のあり方等について検討を行った。 検討内容は、これまで行ったパーソントリップ調査結果より、将来における需要予測を行い、需要が高いと予測される延伸地域を定め、これらの検討結果を基に、事業実現の可能性や実施内容等を検証し、事業化を判断するために必要な方針をまとめた。</p> <p>路面電車活用に向けた基礎調査・検討の委託費 12,306千円 沿線活性化に向けた連携事業費 500千円</p> | | <p>路面電車の活用の方向性をまとめた方針に沿って、都心のまちづくり計画や総合的な交通計画における役割などを整理しつつ、関係機関等との協議、調整を進め、路面電車の活用計画について検討する予定である。</p> <p>路面電車活用計画策定費 10,000千円 概略予備設計費 9,900千円 市民意向の把握 1,700千円 沿線活性化に向けた連携事業費 500千円</p> |
| 規模 | | | |
| 件数 | | | |
| 等 | | | |

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

| 施策体系コード | 5-3-3 | | | 事業名 | 路面電車活用方針検討調査 | | |
|---|---------------|---------------|---------------|---|---------------|---------------|--|
| 達成目標の状況 | | | | | | | |
| 項目 | 18年度末 (現状) | 19年度末 (実績) | 20年度末 (実績) | 21年度末 (実績) | 22年度末 (予定) | 22年度末 (目標) | |
| 基本計画(案)の策定 | 検討 | 調査・検討 | 調査・検討 | 策定 | | 策定 (21年度) | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況) | | | | | | | |
| <p>市民との連携、市民参加 既設線の魅力向上に向けた取り組みを、学生、都心商業者、沿線施設管理者などとの連携・参加により継続的に実施している。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] 沿線の活性化に向けた連携事業等において、都心商業者等からの協賛を受けている。 [人材協力] 沿線の活性化に向けた連携事業等において、学生等がボランティアとして参加している。 [情報協力] 市電フェスティバルのイベント等を利用した情報提供を実施している。 [その他の協力] 沿線の活性化に向けた連携事業を、沿線施設管理者や都心商業者等と協働で実施している。</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 沿線の活性化に向けた連携事業の実施は、民間企業等と共同で協議会を設置しており、様々な主体が参加できるようにしている。</p> | | | | | | | |
| 評価(成果) | | | | 課題 | | | |
| <p>平成19年度は、「さっぽろを元気にする路面電車活用の基本計画検討フレーム」を公表するとともに、市電フェスティバルやパネル展等様々な機会を利用して情報提供を実施した。 また、路面電車活用の方向性を示すため、都心部でのまちづくりでどのように活用すべきかや、自動車交通への影響を把握するために必要な調査・検討を行った。 平成20年度は、市電フェスティバルでのパネル展示等、情報提供を実施するとともに、既設線利用者の利用目的や乗降停留場の箇所、利用人数等、詳細な利用実態などを把握調査を行った。 平成21年度は、まちづくりと一体となった整備内容、費用対効果及び事業手法等を検討し、事業実現の可能性や実施内容等を検証し、事業化を判断するために必要な方針をまとめた。 平成22年度は、都心のまちづくり計画や総合的な交通計画とも一体となった整備内容となるよう、関係機関等との協議、調整を進め、路面電車の活用計画について検討する予定である。</p> | | | | <p>都心部における複数のまちづくり計画と一体となった整備内容、費用対効果、事業採算性等について、さまざまな検討が必要であると共に、路面電車延伸に関する諸課題に対して、関係行政機関や地元商業者との調整が重要である。</p> | | | |
| 今後の事業の予定・方向 | | | | | | | |
| <p>路面電車は、将来における人口減少や高齢化社会の到来等、社会構造の変化を見据えると、乗降性に優れ、環境にもやさしいなど、さまざまな特性を持つため、今後のまちづくりにおける活用が期待されている。 今後は、路面電車の活用の方向性をまとめた方針に沿って、都心のまちづくり計画や総合的な交通計画とも一体となった整備内容となるよう、関係機関等との協議、調整を進め、路面電車の具体的な活用について検討することが必要である。</p> | | | | | | | |

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

| 施策体系コード | | 5-3-3 | | | 事業名 | 路面電車活用方針検討調査 | | | | |
|---|------|--|--------|--------|--------|--------------|--------|--|--|--|
| 事業費の推移 | | | | | | | | | | |
| 項目 | | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 計 | | | | |
| 計画 | 事業費 | 21,000 | 21,000 | 15,000 | 10,000 | 67,000 | | | | |
| | 財源内訳 | 国・道支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | | 市の債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | | その他の | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | | 一般財源 | 21,000 | 21,000 | 15,000 | 10,000 | 67,000 | | | |
| 予算 | 事業費 | 21,000 | 19,000 | 18,000 | 22,100 | 80,100 | | | | |
| | 財源内訳 | 国・道支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | | 市の債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | | その他の | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | | 一般財源 | 21,000 | 19,000 | 18,000 | 22,100 | 80,100 | | | |
| 実績 | 事業費 | 20,913 | 28,238 | 12,807 | - | 61,958 | | | | |
| | 財源内訳 | 国・道支出金 | 0 | 0 | 0 | | 0 | | | |
| | | 市の債 | 0 | 0 | 0 | | 0 | | | |
| | | その他の | 0 | 0 | 0 | | 0 | | | |
| | | 一般財源 | 20,913 | 28,238 | 12,807 | | 61,958 | | | |
| 事業費の進捗率 | | (H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費) | | | | | 125.5% | | | |
| 計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等) | | | | | | | | | | |
| (全体) | | | | | | | | | | |
| [19年度] | | | | | | | | | | |
| [20年度] 路面電車について、今後の計画や収支改善等に向け、各停留場での利用人数や利用目的など、詳細な利用実態調査を実施する必要が生じたため差異が生じた。 | | | | | | | | | | |
| [21年度] 路面電車の活用方針策定にあたり、委託業務内容を見直し、一部の業務委託発注を見送ったため差異が生じた。 | | | | | | | | | | |
| [22年度] 関係機関等との協議、調整を進め、路面電車の具体的な活用について検討するため差異が生じた。 | | | | | | | | | | |